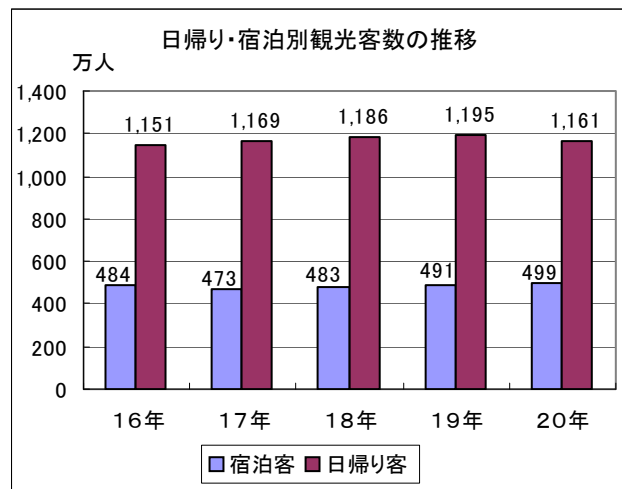
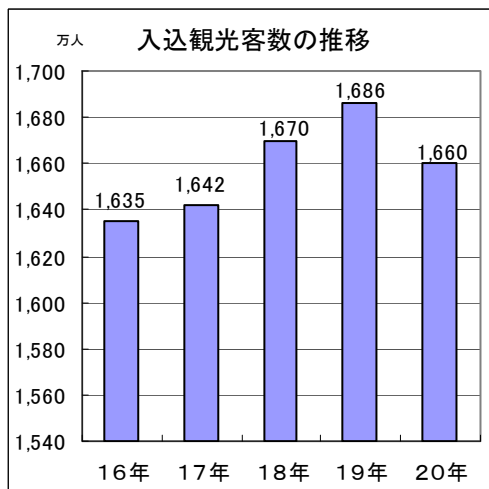


平成20年 観光統計の概要

・福岡市入込観光客（本編P2）

全体としては1,660万人で、前年比1.5%減となっている。
 うち、日帰り観光客数は、1,161万人で、前年比2.9%減。
 宿泊観光客数は、499万人で、前年比1.6%増。



・市内宿泊施設の定員稼働率（宿泊定員に対する稼働率）（本編P3）

年平均61.7%で、前年比2.6%減。8月が最も高く69.6%、1月が最も低く52.5%となっている。
 一方で、宿泊施設の定員数は増加した。

定員稼働率<推計値>

(単位: %)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年平均
20年	52.5	66.5	65.6	56.2	63.8	57.0	64.1	69.6	59.3	61.5	68.0	56.3	61.7
前年増減	-2.7	-0.5	-2.8	-3.4	0.4	-4.2	-2.6	-7.3	-4.3	0.2	1.1	-5.3	-2.6

宿泊施設数等<実数>

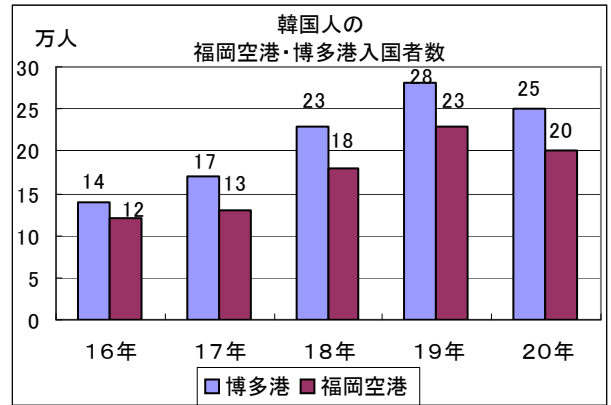
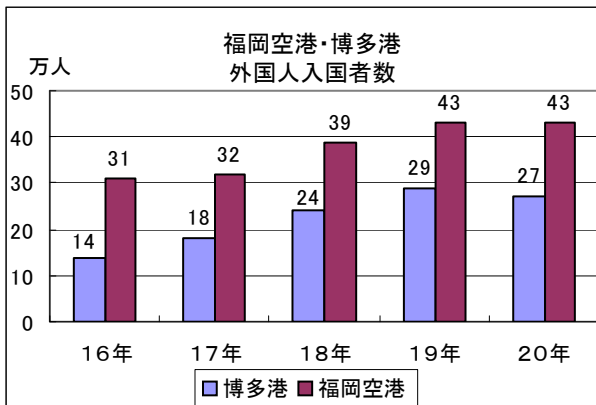
	ホテル・旅館		
	数(軒)	客室数	定員数
19年	195	21,910	32,387
20年	197	22,691	34,306

・ **福岡空港・博多港の外国人入国者数**（本編P 7， 8）

福岡空港・博多港からの外国人入国者数はあわせて70万人で、前年比3.0%減になっている。

外国人入国者数は、全国的にみると、上半期はV J C(ビジット・ジャパン・キャンペーン)効果などにより伸びをみせたものの、下半期には9月に世界金融危機が深刻化し、円高の急進、燃油サーチャージ（燃油特別付加運賃）の高騰等の影響を受け減少した。なかでも韓国人の海外旅行の需要は、景気悪化と急激なウォン安で大幅に落ち込んだ（国際観光白書 J N T O）。

福岡市でも、福岡空港・博多港の外国人入国者において、近年、韓国人が6割以上を占めており、その影響は大きいものと思われる。



外国人入国者数については、全国的に見ても福岡空港と博多港をあわせると中部国際空港を上回っており、福岡市は我が国第3のゲートウェイとなっている。全国シェアは7.6%。韓国人だけでみると17.1%に上る。

港別入国外国人人数ランキング(H20)

単位:万人

1位	成田空港	428	6位	新千歳空港	31
2位	関西空港	164	7位	博多港	27
3位	中部空港	60	8位	大阪港	11
4位	羽田空港	53	9位	那覇空港	11
5位	福岡空港	43	10位	関門(下関)港	11

入国外国人対全国シェア

	合計H18	合計H19	合計H20	福岡空港	博多港
全外国人	7.7%	7.8%	7.6%	4.7%	3.0%
韓国人	17.4%	17.9%	17.1%	7.7%	9.4%

・ **観光消費額**

宿泊 30,721円×499万人=1,533億円

日帰り 12,829円×1,161万人=1,489億円

計 3,022億円

※ 1人あたり観光消費額は「平成16年度福岡市観光客動態調査」による。

経済振興局集客交流部集客企画課

TEL 092-711-4353 (内 2567) FAX 092-762-4442

E-mail: shukyaku.EPB@city.fukuoka.lg.jp

〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1